

空き家を活用した母子シェアハウスを全国に広げるための仕組み

事例や知見を集積し情報発信することで、母子シェアハウスの普及を図る。

- ひとり親家庭のうち、母子家庭では、暮らしを支える住まいを確保することが困難な状況も多い。
- この事業では、母子家庭のシェアハウスの普及を目指すNPO団体が、母子シェアハウス事業者へのヒアリングやポータルサイト「マザーポート」のアクセス分析により、母子シェアハウスに関する事例や知見を集積し、全国大会や冊子等で情報発信する。
- これにより、新規参入者のハードルを下げ、母子シェアハウスの普及を図る。

ポータルサイト「マザーポート」

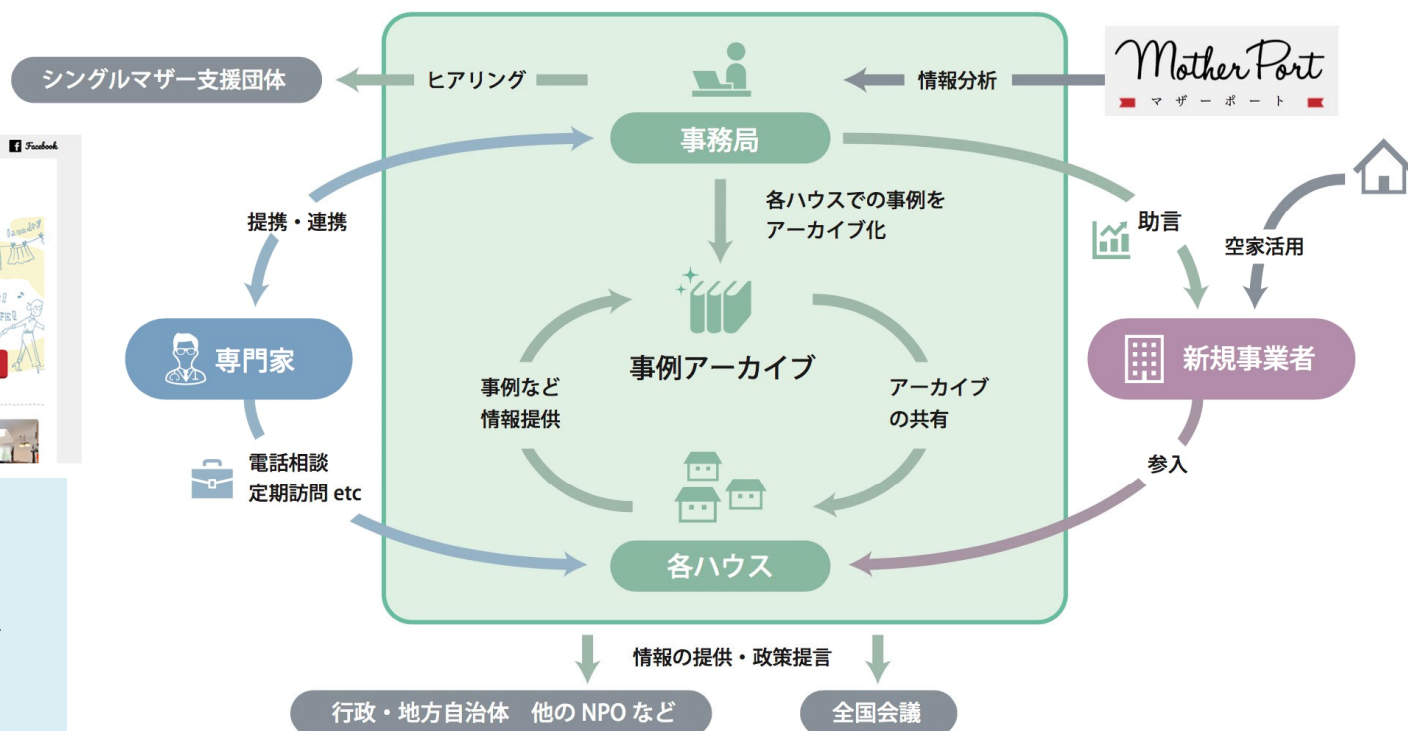
事業スキーム図



事業概要

代表提案者	特定非営利活動法人全国ひとり親居住支援機構
事業実施場所	全国
事業実施内容	事業者ヒアリング、専門家との連携の仕組みづくり、支援団体へのヒアリング、マザーポートのデータ分析冊子作成、ホームページ作成、全国会議の開催等
事業実施期間	令和元年9月～令和3年10月

NPO 法人 全国ひとり親居住支援機構



評価委員会での評価内容

- ひとり親の支援という社会的に重要な課題に対して、母子シェアハウスを普及するためのノウハウを集積し、標準化することで解決を図る先導的な取り組みである。多様なマッチングを意図している点、自己点検と拡大の仕組みを有している点に創意工夫があり、多様な母子家庭の状況に応じた複合的なケアにつながることを期待される。
- 今後、この取組を広げて、具体的な母子シェアハウスの供給に繋げることが望まれる。